

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和5年4月4日

事業所名 放課後等デイサービス ALOHA 保護者等数(児童数) 33人 回収数 30人 割合 90 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	2				引き続き、スペースを確保して活動する
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	1		3		必要以上のスタッフ配置を行っている。研修を積極的に行い、専門性を高め一人一人の力を高めていく
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	4		6		階段や段差等はありませんが、手すりや滑り止め等必要最低限の配慮を行う
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	29	1				モニタリングのみに限らず、連絡帳や連絡手段でニーズや成長していること等を保護者とお子様と一緒に確認を取っていく
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	30					1か月の活動は、スタッフだけではなく、子ども達と一緒に話し合いプログラム設定を行っている
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	2	2	11		地域の公園で場所提供の依頼をしたり、他の公園や科学館等の施設に積極的に行くようにしている。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	2				説明が足りていない方もいるようなので、口頭・文書等色んな手法で行う
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	1				連絡帳や連絡手段でのやり取りを行っている。イベントに応じて来所・活動の参加等含め、引き続き行っていく
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30					引き続きしっかり対応に努め、一緒に共有をしていく
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	5		2		茶話会は出来ていないが、放生会等保護者参加のイベントはいつか開催をしている。参加者を増やせるよう努める
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29			1		引き続き電話、連絡手段、連絡帳等で説明をするように心がけていく。一人で対応せず、スタッフ間での確認・報告・連携も引き続き行う
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30					連絡帳や電話・連絡手段で引き続き情報伝達に努める
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26	1		3		毎月活動予定表を紙ベースとデータベースで送っている。ホームページでの活動も報告をしているが、再度周知をしていく
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	28			2		研修を行い、個人情報の取り扱いに注意を払う
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	2		4		契約書内で説明しているが、定期的な説明に欠けている。不審者や事件、緊急対応がある時のみに状況と対応を連絡している。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	1		11		年二回以上は最低限、地震や津波等時期に必要な時に動画で状況を学び、こんな時はどうすると良いか一緒に確認をし、適切な行動をとる練習を行う。回数を増やしたり、保護者への周知を行っていく。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	26	2		2		通所を楽しみにできる活動や過ごし方を更に高めていく
	18	事業所の支援に満足しているか	29	1				満足してもらえよう更に支援の質を高めていく

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。